

希世塾通信 第1011号

君に五月の輝きを
君が君自身を輝かせるために

顔を上げ胸を張り
元気よく今日一日を始めよう!

夢を抱き忍耐を忘れず
日々努力を重ねていこう!

優しい心を持ち
多くの人と喜びを分かち合おう!

素直な心で
自分自身と誠実に向かい合おう!

新鮮な思いで深く考え
勇気を出して行動しよう!

塾長からのメッセージ

心も
五月晴れで行こう!!

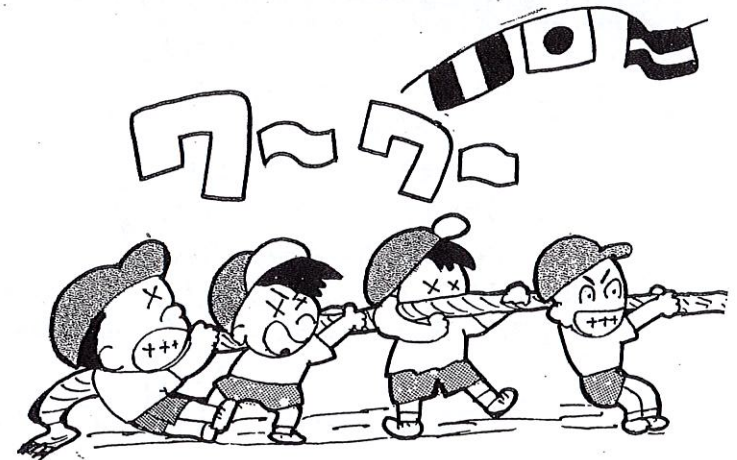
空は晴れても、心はとんより暗い。五月は、不思議な季節です。
清々しく晴れ渡る空を「五月晴れ」と言い、四月のやれぬに満ちた元気な心が一転し何にもやれぬにならない落ち込んだ心の状態を「五月病」とも言います。同じ月なのに...
生きていくことは悩みの連続です。私も悩みのない時なんてこれまでの人生で一度もなかったように思います。悩みは誰にも何時でもあります。大切なのは、悩みをどう抱えていくかです。悩みに自分の心が押し潰されるのではなく、悩みを前向きに積極的に受け止め、とにかく考え行動することです。

五月病の人は、五月晴れの空を見ようとはしません。自分の心の重さに負けて、積極的に考えることも行動することもできません。それなら...

とにかく外に出て大きく息を吸ってこの五月の空を見上げてみましょう! 五月晴れの空が君の心まで五月晴れにしてくれます。

思い悩むことはない! 心も五月晴れで行こう!

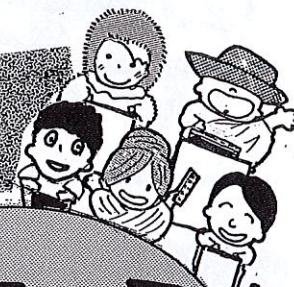
無駄な絵 〇〇〇 笑



5月5日は
「こどもの日」です。
世界共通の記念日では
ありませんが、この広い地球で
たくましく生きる仲間達を
紹介します!

「こどもの日」記念

みんなボクらの友達



休日

自分たちのため 人のため

イギリスはボランティア先進国です。中学生になると、一定期間ボランティア活動をすると表彰されたり、生徒達自身が慈善団体を選び義援金を集める活動をする機会もあります。子供たちはそれらの活動を通して、助け合う精神や自分の社会生活における責任を身につけていきます。

働きづめの子たち

バングラデシュの首都・ダッカの魚市場で働く12歳のジボンくんは、衣料品工場で働く母親と二人で暮らしています。ジボンくんが稼ぐお金は僅かですが、家族の生活のためには欠かせないものです。そのため、ジボンくんは小学校2年生を最後に学校から退学しました。おそらく、ジボンくんが再び教室に戻る機会はやってこないでしょう。



学校に行きたい!

子どもたちが兵士として徴用される国もあります。内戦状態が長く続く南スーダンでは子どもたちは家族から遠く離れ、何か月も十分な食べものを与えられず、恐ろしい銃撃戦に参加させられています。

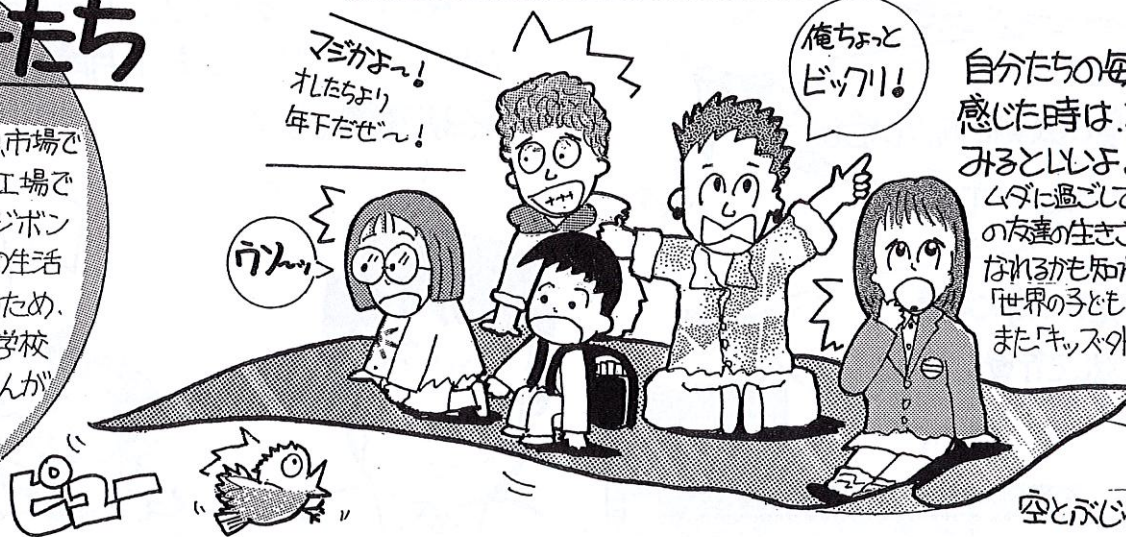
勉強が楽しい子たち

サンゲは11歳。ブータンのラク村で、両親が営む農業を手伝っています。小学校が遠くて通えないため、ラク村の村長宅の一部屋で開かれる「学校外教育」に行っています。「字も読めるようになってきたし、計算もできるようになってきた。色々なことを覚えて楽しいよ。仕事が終わってから勉強するのは疲れるけど、歩いて通えるんだ」とサンゲははにかみながら話してくれました。

マジかよ!!
れたちより
年下だぜ!!

俺ちょっと
ビク!!

ウーン



自分たちの毎日に「だるい」「つまんない」と感じた時は、ユニセフのホームページをのぞいてみるという! 自分たちは、何をやっているんだ? 毎日をムダに過ごしてはいけないうちかと思うような、世界中の友達の様子が載っているよ。ボクらがみんなの力になれるかも知れない! 「世界の子どもたち」で検索してみよう。また「キス外務省」のホームページも参考になるよ。

ビュー

空とぶじゃうたんで世界へGO!